

第321回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成27年9月28日(月)午前11時00分より
- 2 開催場所 テレビ新潟 会議室
- 3 委員総数 9人 出席委員5人

出席委員

豊口 協	委員長	大矢 純一	副委員長
春日 貴光	委員	碓井 真史	委員
原田 健一	委員		

会社側出席者

代表取締役社長	室川 治久
常務取締役編成局長 兼 番組審議会事務局長	
	須佐 博樹
取締役(報道・制作・技術・国際担当)	平野 真一
執行役員報道制作局長	稲田 裕之
報道制作局次長兼制作部長	小木 裕介
報道制作局 合評番組プロデューサー	大橋 義宏

事務局	増子 隆	水野 明子
-----	------	-------

4 議 題

1) 番組合評

「生中継！長岡花火 i n ハワイ～真珠湾に咲く平和の大輪～」

〔放送：8月16日（日）14:30-15:30〕

（説明：番組プロデューサー 大橋 義宏）

2) 会社報告

① 7月及び8月の視聴者の意見 （報告：番組審議会事務局）

② 講じた措置、公表など定例報告等 （報告：番組審議会事務局）

3) その他

5 審議の概要（委員の意見）

会社側から、戦後70年の節目に長岡花火をハワイで打ち上げるというプロジェクトが立ち上がり、当社としても技術上、かなり難しい衛星生中継による番組制作に取り組み、無事放送することができ、その結果、アオーレ長岡でパブリックビューイングという形で、長岡市民の皆さんへ直接届けることができたという説明があった。

- 初めての場所での花火中継で不慣れだったとは思いますが、カメラの置き位置、ポジショニングが良くなかった。
- 現地やアオーレ長岡の観客の反応を入れ込んでほしかった。せめて歓声含めた声だけでも拾ってほしかった。
- 番組内で放送された「Message of Peace」の広報映像の意図がわからなかった。

※Message of Peace : 平和を願い、未来を想う長岡花火のメッセージを
長岡市と市民が共に発信するプロジェクトのこと

- 真珠湾攻撃のことを「太平洋戦争のきっかけとなった」というコメントがあったが、きっかけ＝偶発的、と受け取ると、違和感がある。
- 花火中継を楽しむ一方で、真珠湾攻撃と長岡空襲という当時の状況がありながらも、今、ハワイで長岡花火が打ち上げられるという意味合いをもう少し考えさせてほしかった。
- 過去の友好の歴史を振り返った説明はわかりやすかった。
- FMのアナウンサーの花火解説は、花火を伝えることが慣れており、知識も豊富でよかった。
- 花火の打ち上げシーンでは、音楽、大玉連発、ヤシの木のバックでの打ち上げシーンなど、とても印象的であった。
- 長岡市長の挨拶は、通訳も含め間延びしていたので、編集してまとめた方がよかった。
- 現地での担当者や前日の花火を見た人の感想など、アメリカ側の受け止め方も盛り込んでほしかった。また、花火師の想いの部分ももう少し長く深く語らせてほしかった。
- 見る人の年代で各々の感想が異なる番組だと思う。
- 夜景が中心で、昼の真珠湾の映像など、ハワイらしい実写が少なかった。
- 様々な制約の中、うまくまとめており、記録としてよいものができたと思う。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

7月…… 336件 8月…… 312件

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成27年7月27日) から 昨日(平成27年9月27日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

1) 前回、第320回審議会では、「新潟一番サンデープラス」を審議いただきました。委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

8 今回の第321回放送番組審議会の公表

1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。

2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。

3) インターネットのTeNYホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項(委員への配布資料)

- ・7月及び8月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・民間放送新聞(8/3、23、9/3、13、23号)
- ・BPO報告 NO.151、152、153

以上